

④. 需要喚起方策の対象の設定結果

過年度の需要喚起方策に関する調査・分析において整理されている需要のボリューム、鉄軌道の利用可能性を踏まえ、需要喚起方策が有効と見込まれる対象を設定した。

表 需要喚起方策の対象の設定結果  
(赤字は需要のボリューム、青字は鉄軌道の利用可能性に関する部分)

需要	需要のボリューム	鉄軌道の利用可能性
旅客(県民)	自動車利用トリップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短距離でも自動車を利用する理由は駅までの遠さ、運行本数の少なさ等が多い。【H24 県民アンケート調査】</li> <li>・安価な運賃設定(150円程度)など条件次第では鉄軌道への転換可能性はある。【H24 県民アンケート調査】</li> <li>・多くの住民や企業は、公共交通手段との比較選択を行わずに、習慣的に自動車を利用している。【H25 県民意識調査】</li> </ul>
	日中のトリップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約40～50%が条件が合えば利用したいと思うと回答し、運賃、駅へのアクセスの良さを重視している。【H24 県民意識調査】</li> </ul>
	駅から徒歩圏域外を出発地・目的地とするトリップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料の自転車・バイク・自動車駐車場があれば利用意向は6～7割程度ある。【H24 県民アンケート調査】</li> <li>・運賃が安価なフィーダーバスがあれば利用意向は5割程度ある。【H24 県民アンケート調査】</li> </ul>
旅客(観光客)	国内客	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6割程度が利用意向を示しており、県民と比較すると利用意向は比較的高い。【H25 観光客意識調査】</li> <li>・条件としては、運行本数、駅へのアクセスの良さを重視。【H24 観光客アンケート調査】</li> <li>・所要時間が短い方が、運賃が安い方が鉄軌道の選択意向が高くなる。</li> <li>・海が見える時間がある場合にはない場合よりも選択意向が高くなる。【H26 県外来訪者アンケート調査】</li> </ul>
	海外客	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体旅行では中長距離において利用可能性が高い。【H25 旅行関係業者アンケート調査】</li> <li>・宿泊施設や観光施設は駅から離れている施設が多い。</li> </ul>
	国内客・海外客共通	

**需要喚起方策の対象**

短距離トリップは自動車トリップの中で多く、運行本数や安価な運賃設定等により鉄軌道の利用可能性が高いと推察される。  
**【県民対象①】短距離の自動車トリップ**

通学送迎者は、大幅な増加傾向にあり朝ピーク時では自動車利用者の1～2割を占め、短距離トリップ同様、運行本数や安価な運賃設定等により鉄軌道の利用可能性が高いと推察される。  
**【県民対象②】通学送迎による自動車トリップ**

日中は公共交通の利用者数が少ない一方で、県民の40～50%が利用意向を示しており、鉄軌道の利用可能性が高いと推察される。  
**【県民対象③】日中のトリップ**

県民の多数は駅勢圏外に居住し、徒歩以外の手段でアクセスする必要がある一方で、無料の駐車場や運賃が安価なフィーダーバスを整備すれば、概ね半数以上が利用意向を示している。  
**【県民対象④】駅から徒歩圏域外を出発地・目的地とするトリップ**

観光客は那覇市内に加え、中部・北部地域を目的地とするトリップが多く、県民と比較して鉄軌道の利用意向が高いほか、中長距離トリップは団体旅行においても利用可能性が高いとされている。  
**【観光客対象】：中部・北部を回遊する長距離トリップ**

### (3) 先行事例における効果把握

ここでは、前頁の対象に対して、有効な需要喚起方策を抽出するため、先行事例における効果を把握する。

先行事例は、過年度調査における需要喚起方策の効果を踏まえた上で、定量的な需要喚起効果（輸送人員の増加）が示されているものを中心に収集・整理した。

#### 1) 過年度調査における需要喚起方策の効果把握

平成 25 年度には、運賃施策、鉄軌道とバス路線の結節のあり方等を対象に、需要喚起効果が検討されており、短距離割引および、バス路線のフィーダー化が需要喚起に有効であることが示されている。以下、需要喚起効果に着目して過年度調査をレビューする。

なお、平成 26 年度調査においては、需要喚起方策の効果は示されていない。

**表 平成 25 年度 需要喚起方策の効果把握に関するレビュー**  
**(赤字は需要喚起方策による効果に関する部分)**

需要喚起方策の効果・影響把握の結果
(運賃施策の事例分析) <ul style="list-style-type: none"><li>短距離帯での鉄軌道利用を促進させる施策として、<b>短距離割引(1駅のみ利用の運賃を半額程度に割引く施策)</b>の事例を収集した。その結果、実施例のひとつである<b>沖縄県の沖縄都市モノレール</b>において、<b>需要喚起に一定の効果</b>があることを確認した。【p4-2】</li></ul>
(鉄軌道とバス路線の結節のあり方の検討) <ul style="list-style-type: none"><li>鉄軌道とバス路線の結節のあり方を検討するため、鉄道ケース1(うるま・パイプライン)とバス路線の県庁周辺までのサービス水準を比較した。その結果、<b>県庁周辺から概ね 10km 以遠については、鉄軌道の所要時間及び費用面での優位性が高く、バス路線のフィーダー化が需要喚起に有効</b>であることを示した。【p4-2】</li></ul>

注) 鉄道ケース 1 (うるま・パイプライン) の予測結果であり、諸条件(ルート、システム、駅位置、速度等)が異なる他のケースでは、予測結果が大きく異なる可能性があることに留意する必要がある。

出典：平成 26 年度沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システム導入課題検討に向けた基礎調査

【】は掲載ページ番号

## 2) 需要喚起方策の先行事例

過年度調査における需要喚起方策の効果を踏まえ、各対象別に有効と見込まれる方策を抽出する。

抽出に当たっては、過年度調査で有効性が示されている方策に加え、定量的な需要喚起効果が示されているものを中心に先行事例を収集・整理した。

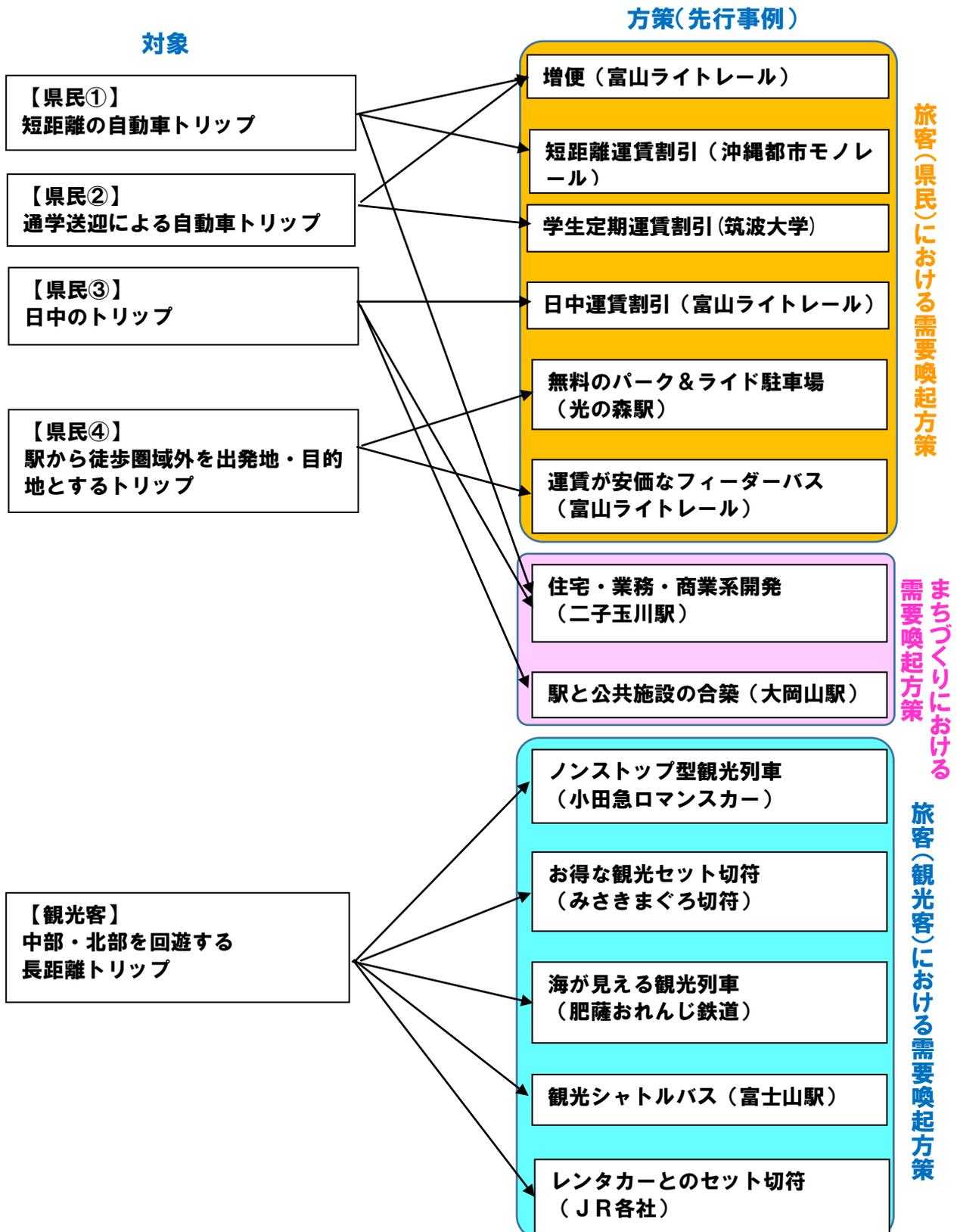


表 先行事例における需要喚起効果および課題のまとめ

項目	需要喚起方策 (事例)	需要喚起効果	想定される課題
旅客を対象とした需要喚起方策 (県民を対象)	増便 (富山ライトレール)	増便と併せた富山ライトレールの開業により利用者数は大幅に増加	増便により運行経費以上の収入を得られない場合、収支が悪化することが懸念される。
	短距離運賃割引 (沖縄都市モノレール)	導入以降、利用者は経年的に増加傾向	割引による現在の利用者に対する減収分以上の新規利用者を獲得できない場合、収支が悪化することが懸念される。
	学生定期運賃割引 (筑波大学)	販売翌年度から販売数が大幅に増加	割引による現在の利用者に対する減収分以上の新規利用者を獲得できない場合、収支が悪化することが懸念される。
	日中運賃割引(富山市)	経年的に利用者は増加傾向	割引分は財政負担によって賄っており、財政逼迫の要因となることが懸念される。
	無料のパーク&ライド駐車場(光の森駅)	駐車場は満車状態であり、駅利用者数は増加傾向	商業施設の駐車場であるため、パーク&ライドとしての容量には限界がある。
	運賃が安価なフィーダーバス(富山ライトレール)	フィーダーバス導入を含めたライトレール開業により利用者数が大幅に増加	割引による現在の利用者に対する減収分以上の新規利用者を獲得できない場合、収支が悪化することが懸念される。
まちづくりにおける需要喚起方策	住宅・業務・商業系開発 (二子玉川駅)	再開発事業着工以降、利用者は増加の一途	大規模な再開発事業に伴う用地の確保、資金の確保、地権者の合意形成等が懸念される。
	駅と公共施設との合築 (大岡山駅)	病院移転後において定期外利用者数が増加	鉄軌道から発生する振動・騒音等の対策が必要。
旅客を対象とした需要喚起方策 (観光客を対象)	ノンストップ型観光列車 (小田急ロマンスカー)	箱根への交通手段として定着	速達性の高い優等列車を導入することで、日常交通の運行本数減少や所要時間の増大などのサービス低下が懸念される。
	お得な観光セット切符 (みさきまぐろきっぷ)	販売数は経年的に増加傾向	割引による現在の利用者に対する減収分以上の新規利用者を獲得できない場合、収支が悪化することが懸念される。
	海が見える観光列車 (肥薩おれんじ鉄道)	6年ぶりの利用者増に貢献	観光列車を導入することで、日常交通の運行本数減少や所要時間の増大などのサービス低下が懸念される。
	観光シャトルバス (富士山駅)	駅利用者数は近年増加傾向	道路混雑時における鉄道との接続確保、需要の季節変動に応じた運行などが求められる。
	レンタカーとのセット割引(JR各社)	一定の需要がある	鉄道のトリップ長が短い場合における料金の割高感などが懸念される。

#### (4) 有効と見込まれる需要喚起方策の抽出

先行事例において、すべての需要喚起方策について効果が確認されたことから、沖縄において有効であると見込まれる。